七飯町立七重小学校　学校だより　第７号　　令和７年１１月２８日発行

あかまつ

本校経営・教育活動推進理念　自　分　か　ら
教育活動・授業推進重点目標　ま　っ　す　ぐ

「学習発表会」

校長　五十嵐　義幸

学習発表会へのご来校・ご観覧をいただき本当にありがとうございました。学年・学級閉鎖もあり、例年と違う日程となりましたが、ご理解とご協力をくださり重ねてお礼申し上げます。

どの学年発表も子ども一人一人の頑張りが見えてきて、また家族に伝えたい、見せたいという願いを感じました。そして、ご観覧くださった皆様の拍手、まなざしに何とも言えない温かなお気持ちを感じ、私にはとても嬉しく感動する会でありました。

私が学級担任をしていた時、ちょうど名称が「学芸会」から「学習発表会」へと変わる頃でした。行事に向けて新たに劇や演奏を猛練習するという形から、日頃の学習の成果として子どもの学び・成長を伝える行事へと向かっていったのです。

私は、高学年の担任が多かったものですから、学習発表会では器楽演奏に取り組むことがよくありました。「八木節」「ルパン三世のテーマ」もすごく思い出に残っています。ここだけの話ですが、どちらも七重小で取り組んだものです。「八木節」のときには、長胴太鼓（大太鼓）を借りてきてステージ中央に据え、締太鼓（小太鼓）も並んで、タンタン・タンタカタンというリズムに乗って、リコーダー・鍵盤ハーモニカの旋律が流れ込んでくるんです。すごい迫力！と手前味噌ながら思って大拍手でしたが、今年の高学年の演奏はもっと鳥肌が立ちました。普段の音楽の授業から導いて行っているのですから、当時のほとんど全部の時間を使って練習していたのとは訳が違いますもの。

「ルパン三世のテーマ」私の担当は鍵盤ハーモニカでした。これがまた難しいパートでして。音楽ど素人の私がとった戦法は、CD を聴いて旋律を頭にたたき込んだら、口にして子どもとひたすら練習することでした。「タラリー、タラタラタララー、ルルルルルルルー」なんて叫ぶ私、それを鍵盤ハーモニカで追いかける子どもたち。もう、音楽なんて大っ嫌いだ！なんて苦手意識を持ってる子もたくさんいましたから、意地でも「できた！」「すごいよ！」と肩を抱き合いたくて毎日必死だったです。曲が通ったときの感動と言ったらもう言葉でなんて表せない。

そんなことが行事に向かう日々の中であちこちに起きるのです。今年もそうです。行事を通して伸びてゆく子どもの姿がたくさんあるのです。始業式や卒業式など儀式的行事と呼ばれるものもその一つです。思い出してください、校長先生のお話にご来賓の祝辞、立ったり座ったり、礼一つに「揃ってない！」なんて叱られて。だけれど、社会に出てから儀式の作法を学ぶ機会はそうそうないのです。礼儀作法や姿勢良く我慢することを学ぶ機会は、実は小中学校の儀式なのです。そうです、壇上に立つ人の話は長いのです。

学習発表会が終わった給食時間、放送を流してしまいました。「校長先生の突然放送」なんて銘打って。子どもたちの発表が嬉しくて、そのことを伝えたかったのです。ちょっとだけ話そうと思っていましたが、終わってみたら５分以上も話していました。やっぱり校長の話というのは長い…反省はするのですが、上手な話がなかなかできないのであります。

きらり★いのちの学習を行いました

１１月２５日（火）に、しんがき加奈ウィメンズクリニックの新垣加奈先生を講師のお招きし、「生まれてきたあなたの物語」の講演を聞きました。５・６年生児童は、「男女の体の違い」「二次性徴」「生命誕生のしくみ」「プライベートゾーン」等について学びました。

動画やクイズを交えながらの講演のため、子供たちは楽しみながら学習していました。また「今まで知らないことを勉強できてよかった」「自分を生んで産んでくれたことに感謝したい」「自分のからだをもっと大切にしていきたい」等の感想をもっていました。

学習発表会、盛会のもと終了しました

学習発表会が終了いたしました。どの学年の子供たちも、これまでの学習の成果や成長の様子を、見に来てくださった保護者の皆様にしっかりと伝えることができました。子供たちの頑張りに大きな拍手をおくりたいと思います。

保護者の皆様におかれましては、インフルエンザ等による学年・学級閉鎖のため、急な日程変更にご協力くださりありがとうございました。また、ルールやマナーを守ってご観覧いただき感謝申し上げます。

今月のアルバム　～学習発表会　11/19(水)　～

いじめ見逃し「ゼロ」に向けて

１０月に２回目のアンケートを実施しました。「誰かに嫌なことを言われたりされたことがある」との回答が４０件ありました。内容は下記のとおりです。

学校では、いじめの早期発見や未然防止に向けて、いじめ防止対策基本方針にそって全職員で取り組んでいます。しかし、いじめは「いつでも、どこでも、だれにでも」起こりえます。学校での様子ではわからない場合もあります。そのため、ぜひご家庭でのお子さんの様子や遊んでいる様子などから何かお気づきのことがありましたら、遠慮なく担任または学校までご連絡いただきますよう、お願いします。

≪子供たちの書いた 嫌なこと≫　※おおまかな内容

- 嫌なことを言われる
  （からかい、悪口、嫌味、陰口、責められる、あおられる、文句を言われる）
- 真似をされる　・とられる（鉛筆、消しゴム）　・かくされる
- 叩かれる　・押される　・ぶつかられる　・つねられる
- けられる　・ちょっかいを出される
- 自分のものを勝手に触られる。
- 他の人のものを机に入れられる
- 無視される　・仲間外れにされる
- 友達を仲間外れにしようと誘われる